

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年7月9日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年6月13日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	台湾
留学先大学	国立台湾大学(日本語名) 國立台灣大學(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	中国語/英語・中国語
留学期間	2024年8月～2025年6月
留学先大学で在籍した学年	1年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 人文学部外国語文学科 現地言語での名称: 文學院外國語文學系 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬～7月下旬 2学期: 9月中旬～2月上旬	1学期: 9月初旬～12月下旬 2学期: 2月中旬～6月上旬 3学期: 4学期:
学生数	35,043
創立年	1928年

留学費用

留学費用項目	A 現地通貨 (台湾元(NTD)) (1 現地通貨 = 4.8 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため
宿舍費	38,000	0 円	デポジット除く
食費	45,000	0 円	一日 150 元目安に生活していました
図書費	4,000	0 円	
学用品費	1,000	0 円	
携帯・インターネット費	5,800	0 円	学生向けのフリープランを使っていました
現地交通費	8,500	0 円	毎月 TPass を購入していました(□大学 まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1,100	0 円	Handywork サークルの部費
旅費(留学中)	12,000	0 円	鉄道・宿代のみ
被服費	6,800	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	0	104,780 円	形態: 明治大学指定の海外留学保険
渡航旅費	0	75,440 円	
ビザ申請費	0	10,100 円	
雑費	8,000	0 円	
その他	2,500	0 円	電気代
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	130,000 (=624,000 円)	190,320 円	
総計(A+B) ※円		814,320 円	各項目多めに計算していますが多分 色々見落としがあつて、実際はもう少しか かっていると思います

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：台北松山空港 経由地：

復路 出発地：台北松山空港 目的地：羽田空港 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：チャイナエアライン 料金：37,860 円

復路 航空会社：チャイナエアライン 料金：40,580 円 ∴合計：75,440 円

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名： Trip.com)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前： Yuantong Dormitory(圓通宿舎)) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 4 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

4 月の台湾大学への Application の際に入寮希望の有無を記入する欄がありました。そこに寮の種類を希望順位順に書いて提出したところ、7 月頃に入寮許可が届きました。

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人へのアドバイス)

実際に行く前は 4 人部屋ということとかなり汚いという噂を聞いて心配していたのですが、行ってみると想像よりは綺麗で色々な国から来たルームメイトと仲良くなれるので楽しかったです。私の場合はイタリア、フランス、フィリピン、韓国、中国からのルームメイトがいて、ほかの部屋の日本人と仲良くなることもありました。特に前期のルームメイトとは日帰り旅行に行くくらい親くなりました。難点は最寄り駅まで徒歩で 20 分かかる点ですが、寮の一階にスーパーとコンビニが、近所にはレストランが沢山あったので不便ではなかったですし、駅までの道中にミャンマー街があって春にはツバメの巣が沢山できていたりして歩くのも楽しかったです。時間によってはシャトルバスもあります。台大に留学する方はキャンパスそばの水源寮を第一希望にされることをお勧めしますが倍率がかなり高いので、アパートより安く安心な圓通も希望に入れてみてください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

日本台湾交流協会というところから定期的に危険情報に関するメールが届いていました。台北は非常に治安が良く特に危険を感じたことはありませんが、貴重品の管理には気を付けていました。特に混雑した観光地では観光客狙いのスリがいると聞いていたので、鞆を前に持つなどしていました。周りでも犯罪に巻き込まれた話は聞きませんでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

インターネット環境は街中、大学等含めて概ね快適でした。ただ寮のWi-Fiは稀につながりにくい時があったので、携帯電話のテザリングを併用していました。スマホは現地の携帯ショップで学生向けのフリープランのsimカードを買っていたのでデータ量も安心して使いやすかったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードの海外キャッシングを利用して現金を引き出し、キャッシングするたびに親に即時返済してもらっていました。街中のATMで引き出せるのでとても安心でした。銀行口座は作っていません。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

台湾では日本のものは大概手に入るの心配することはないです。ただ日用品や文房具を中心に割高ではあるので、気に入っている文具などはできるだけ持っていくといいかもしれません。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
33 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
国際生華語(1, 2)		国際生一般中国語(1,2)
科目設置学部・研究科	華語教學碩士學位學程	
履修期間	一学年間	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	語学(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回	
担当教授	鄭婷勻	
授業内容	中国語の文法、語彙、会話練習など	
試験・課題等	復習課題、作文、筆記・口頭試験	
感想を自由記入	オール中国語なので最初はついていくのに必死でしたが、だんだんリスニングやスピーキングが上達するのが自分でもわかってとても楽しかったです。日本での中国語の授業とは違って会話練習が多く、拙い中国語を使って一生懸命話し合うので、色々な国から来ているクラスメイトととても仲良くなれました。先生に文法の質問をするときなども中国語で聞かないといけないので難しかったです。言いたいことが伝わった時は本当に嬉しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
語言學概論上/下	言語学概論上・下
科目設置学部・研究科	外国語文学科
履修期間	一学年間
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	SHAN-SHAN WANG
授業内容	言語学の基礎に関する講義
試験・課題等	毎回の復習課題、グループ発表、試験
感想を自由記入	言語学の様々な分野の基礎を幅広く学ぶことができました。英語開講科目なのですが正規生がほとんどだったため、教授が中国語で補足説明することがありました。はじめはそれを理解するのに苦労しましたが、後半には大体の意味が分かるようになって嬉しかったです。課題はそれほどきつありませんでしたが、学習内容が多いので予習復習をしっかりとやろうと思うと大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
語音學一	音声学 1
科目設置学部・研究科	外国語文学系
履修期間	一学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	CHEN-HSIU KUO
授業内容	IPA 記号や音波スペクトログラムの見方などに関する講義
試験・課題等	課題、試験
感想を自由記入	基本的な IPA 記号の復習や調音システムから始まり、世界の言語に存在する珍しい発音の実践や音波グラフの分析まで音声学を掘り下げていく授業でした。本来は「言語学概論」の履修を終えてからでないと取れないですが、メールを送って履修許可を頂きました。高校の物理の授業ぶりに波形グラフに触れて大変でしたが、耳で何となく捉えていた言語音が視覚化され科学的に分析できるのはとても面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
語音學二	音声学 2
科目設置学部・研究科	外国語文学科
履修期間	一学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	CHEN-HSIU KUO
授業内容	応用音声学の講義、実験音韻論のレポート執筆
試験・課題等	課題、リサーチ型レポート
感想を自由記入	前の授業の続きですが、こちらは試験がなく、一人一人が実験・調査を行ってレポートを書きました。英語でリサーチ型レポートを書くのは大変でしたが、学んだ知識を活用して自分の疑問を解決するための実験を自分で計画し実行するのはとても面白かったです。最後にはお互いの研究結果を見るポスター発表会もあり、同じ内容を学びながら違う視点に着目したクラスメイトの研究を見るのは楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
探索台湾: 自然環境與資源	探索台湾: 自然環境と資源
科目設置学部・研究科	Program in Taiwan Studies
履修期間	一学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、オムニバス(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	HSIAO WEI YUAN
授業内容	台湾の自然環境に関する講義、動物園や博物館へのフィールドトリップなど
試験・課題等	クイズ、フィールドトリップレポート、グループ発表、試験
感想を自由記入	台湾の自然について学べて面白かったです。各分野の教授が専門的なことについて話すので英単語が難しく全てを理解するのは大変でした。留学生優先の授業で、フィールドトリップやグループ発表で様々な国の留学生と関われるのもよかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
探索台湾; 自然資源保育與經營管理	探索台湾: 天然資源の保護と管理
科目設置学部・研究科	Program in Taiwan Studies
履修期間	一学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、オムニバス形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	CHI-CHANG LIU
授業内容	台湾の自然に関する講義、フィールドトリップなど
試験・課題等	クイズ、フィールドトリップレポート、グループ発表、試験
感想を自由記入	ひとつ前の授業と同じく台湾の自然に関するオムニバス形式の授業ですが、より人間の活動に関係する内容を扱っていました。内容はほとんど別でどちらも面白いので、両方履修しても楽しめます。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
探索台湾;女性與台灣社會	探索台湾: 女性と台湾社会
科目設置学部・研究科	Program in Taiwan Studies
履修期間	一学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	KUO JEN-FENG
授業内容	台湾の女性の社会進出・権利拡大の歴史の講義
試験・課題等	グループ課題、期末レポート
感想を自由記入	第一学期に受講したので、女性史を学びながら台湾の大まかな歴史について知ることができたのがとてもよかったです。グループ課題は国籍の違う学生同士で決められたテーマについて討論し、短いレポートを書くものでした。ほかの国や台湾の制度・文化を学び、日本の制度と自分の中の価値観を比較して再考する機会になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
普通心理學	一般心理学
科目設置学部・研究科	心理学系
履修期間	一学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	PEI-WERN CHOU
授業内容	心理学の基礎的知識の講義
試験・課題等	ディスカッションへの参加、試験
感想を自由記入	大教室で分野の基礎知識について学ぶ、ある意味とても大学らしい授業でした。教授の話し方もスライドもわかりやすく、シンプルに知的好奇心が満たされる講義で、軽い気持ちで履修しましたがとても面白かったです。時々周りの人とのディスカッションの機会があり、自分の考えを英語で細かく適切に伝えるのが難しかったです。刺激的でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
探索台湾; 台湾電影與台灣社會	探索台湾: 台湾映画と台湾社会
科目設置学部・研究科	Program in Taiwan Studies
履修期間	一学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	KUO JEN-FENG
授業内容	台湾映画の歴史と、社会的変化との関係
試験・課題等	中間・期末レポート
感想を自由記入	台湾映画の歴史的な流れと共に台湾の社会運動の歴史を学ぶことができました。実際にその時代の台湾映画の一部または全部を鑑賞する回もあり、台湾映画に全く縁がなかった私も楽しめましたが、台湾映画を見たことがあったり少しでも知識があるととても面白いのではないかなと思います。鑑賞した映画の監督が、新作の宣伝も兼ねてゲストスピーカーに来てくださる回もありました。レポートは指定の参考資料がかなり長く語数も多かったので大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
国際生初級臺語	国際生初級台湾語
科目設置学部・研究科	華語教學碩士學位學程
履修期間	一学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(語学)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	賴毓珊
授業内容	基礎的な台湾語の発音と単語、会話練習
試験・課題等	復習課題、スピーチ、口頭・筆記試験
感想を自由記入	標準中国語と似ているようで違う台湾語が不思議で面白かったです。教授は中国語を使って台湾語を教えてくださいなのですが、台湾語に引っ張られてか発音が訛っていて聞き取りが大変でした。週一回一学期間の授業にも関わらず、毎回授業の最後に教授と一対一で発音練習する時間があったり後半には自分で自己紹介を書いて全員の前で発表する課題があるなどかなり実践的な内容でした。街中で話されている台湾語が少しずつわかるようになって楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
東亞導論	東アジア学入門
科目設置学部・研究科	Program of East Asian Studies
履修期間	一学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	Chia-chen Chou
授業内容	東アジアの歴史、政治、経済、軍事などについての講義、課題論文をもとにしたディスカッション
試験・課題等	グループディスカッション、期末レポート
感想を自由記入	個人的に最も苦勞した授業です。Introduction とありますが基礎知識のある留学生がかなりいたようで、どんどん質問が出て話が複雑になっていくので、国際関係学が専門ではない私についていけないこともありました。国際関係系の授業をこれしかとっていなかったため、英単語の知識が無いことも大変でした。期末レポートの内容は授業のレビューで、ゲストスピーカーの講義とそれに関連する論文の内容をまとめればいいので、語数は多かったですけどなんとかありました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	明治大学入学
	8月～9月	留学関係の情報を集め始める、TOEFL 受験
	10月～12月	明治大学での出願、選考
留学開始年	1月～3月	留学先大学への出願準備(パスポート取得など)
	4月～7月	出願、健康診断・ビザ取得・航空券購入などの手続き
	8月～9月	履修登録、渡航、授業開始、居留証申請
	10月～12月	期中試験、期末試験
留学/帰国年	1月～3月	冬休み、授業開始
	4月～7月	明治大学の履修登録、期中試験、帰国航空券購入、期末試験、帰国、成績証明書取り寄せ
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私はアジアの言語に興味があり、中国語をもっと学びたいと思い台湾への留学を決めました。国立台湾大学は台湾最大の大学というだけあって英語開講科目や中国語・台湾について学べる科目も多く、非常に理想的な留学先だと思います。施設も充実していて、特に学生食堂は価格が安いだけでなく種類も多くとてもおすすめです。アジア圏以外からの留学生も多いので、東アジアにいながら様々な国の学生と関わる事が出来ます。

台湾はとても人が優しく、治安もいいのでとても住みやすいです。私は元々あまり中国語ができず、初めはパン屋で買い物するのもひと苦労でしたが、優しい台湾の方に囲まれて毎日の買い物や旅行をするうちにだんだんわかるようになっていきました。語学力はもちろん重要ですが、言語の勉強は終わりが無いし「これができれば大丈夫」という基準もないので、思い切って飛び込んでみるのも大切なのだと思います。特に台湾は漢字文化圏なので書いてあることは理解しやすいですし、留学してみたいけど語学が不安という方も台湾留学を考えてみてはいかがでしょうか。